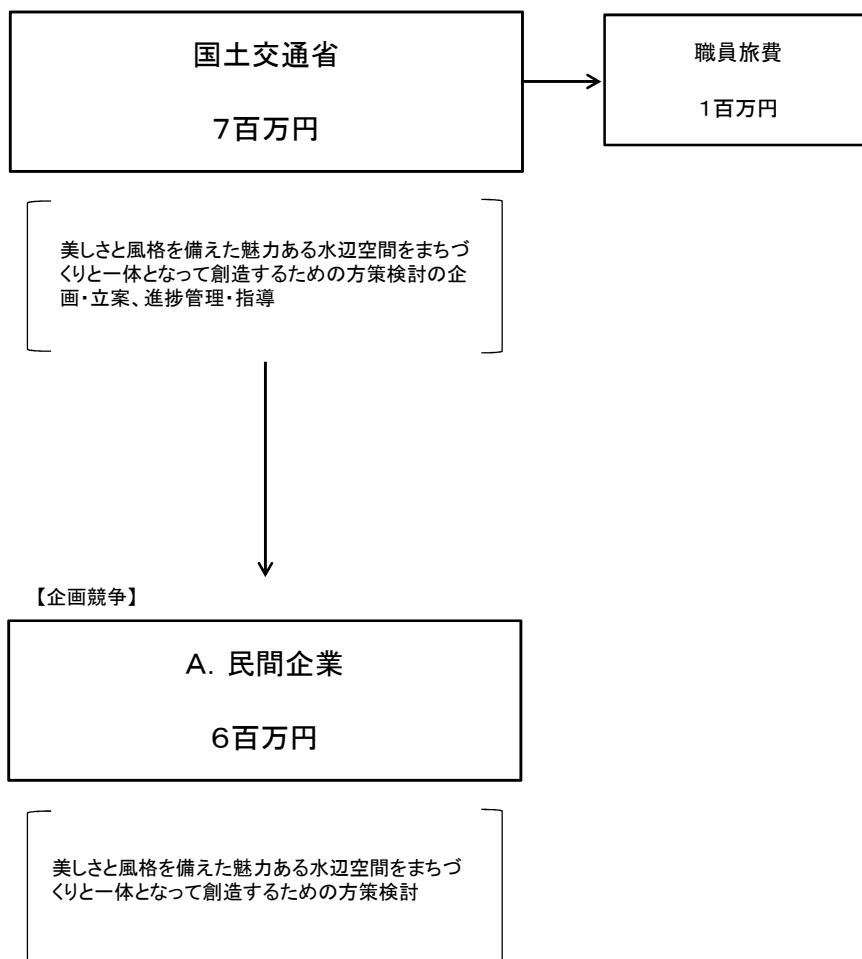


平成27年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	ミズベリング・プロジェクトの推進に係る方策検討経費			担当部局庁	水管理・国土保全局		作成責任者	
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	河川環境課		課長 小俣篤	
会計区分	一般会計			政策・施策名	2 良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現 7 良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	国土交通省重点政策 総合水系環境整備事業の実施について(河川局長通知)			
主要政策・施策	観光立国			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	住民、企業、行政が連携し、水辺の賑わい・地方の活力や自然豊かな河川景観等を保全・創出することにより、美しさと風格を備えた魅力ある水辺空間をまちづくりと一体となって創造するための方策を検討し、新たな水辺空間の利用促進を図ることを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	海外及び国内の先進事例を調査し、その結果を現行の河川管理に関する制度や取組、また、その背景等と比較しつつ取りまとめるとともに、魅力ある河川空間を創出するための方策について、民間企業や河川利用者から意見聴取し、制度改正や運用改善の必要性、効率的なプロモーションの実施方策、河川管理上の課題等を整理する。 併せて、検討した活用方策の実現可能性及び効果等を検証する。検証は、現地の行政担当者や民間企業、河川利用者等からのヒアリングで得られる結果を活用して行う。							
実施方法	直接実施、委託・請負							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	7	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	0	0	7	0	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	魅力ある水辺空間をまちづくりと一体となって創造するための取組として、かわまちづくり等を実施している160箇所	魅力ある河川空間を創出するための取組として、かわまちづくり等を実施している箇所	成果実績	箇所	-	-	-	
			目標値	箇所	-	-	-	160
			達成度	%	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 <input type="checkbox"/> チェック								
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	美しさと風格を備えた魅力ある水辺空間をまちづくりと一体となって取り組んでいる箇所からの意見徴収	活動実績	箇所	-	-	-		
		当初見込み	箇所	-	-	-	10	
単位当たりコスト	予算額/美しさと風格を備えた魅力ある水辺空間をまちづくりと一体となって取り組んでいる箇所からの意見徴収	単位当たりコスト	百万円	-	-	-	0.7	
		計算式	百万円/箇所	-	-	-	7/10	
平成27年度(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	1	-					
	水環境対策調査費	6	-					
	計	7	0					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	民間による水辺への関心が高まっており、特に2020年東京オリンピックに向けて水辺を活用した賑わい空間や地域づくりの気運が高まっていることから、社会のニーズを的確に反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	河川空間に民間活力の活用を促進するための制度改正を検討することから、河川管理に係る制度を所管している国が実施することが適切である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	河川空間における更なる民間活力の活用による地域の賑わい創出を目的としており、重要かつ優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	世界中から人や活力を惹きつける魅力ある水辺空間を創出するため、海外の先進事例等をもとに日本の河川空間の利活用・整備に関することから、河川管理に係る制度を所管している国が率先して実施することが重要である。			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業成果が河川空間の利活用・整備に関する具体的な案件形成につながるよう、事業実施にあたって地方公共団体や民間事業者等の関係者との連携、情報共有に努める。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
平成27年度の事業の実施にあたっては関係者と連携のうえ、地域の実情を踏まえた方策検討を行うとともに、得られた成果については地方公共団体や民間事業者等への情報共有を行い、最大限の効果が得られるよう努める。					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	新27-010		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)